

平成23年度 第1回 理事会 (案)

開催日時 : 平成23年5月20日(金) 18:30から22:20  
開催場所 : 岐臨技事務所  
出席者 : 北村、石郷、永井、近藤、田中、兼子、鈴木、山本(貴)、臼井、多和田、  
金森、松山、森、林、宮内、平塚、渡辺、神谷、上垣内、牛丸、山本(初)、  
平沢(22名) 欠席:西村、梶屋  
平成24年度日本臨床検査技師会中部圏支部学会(第51回)  
実行委員長:深津隆  
事務局長:松川洋子  
議長:北村 顕

議事録署名人:平沢 弘行、永井 正信

【議長】

- ・それでは、第1回の理事会を只今より開催致します。皆さん、また実行委員長、本当にお忙しいところ出席頂きまして、有難うございます。宜しくお願い致します。
- ・会議資料の確認
- ・今日は、中部医学検査学会を岐阜県で受けるために、東濃で中心となってやって頂くという事で、深津先生、松川先生に来て頂いております。何回か準備の為に理事会に出席して頂きながら、進捗状況やあるいは本部のお願いなどを伺っていきたいと思いますので、宜しくお願い致します。

《議題》

1. 平成24年度日本臨床検査技師会中部圏支部学会(第51回)について

【北村】

- ・日臨技より、これが正式名称になりますとの連絡がありました。
- ・今年度11月以降にこういう名称になります。
- ・“中部”ではなく“中部圏”となります。
- ・それでは、深津先生、宜しくお願い致します。

【深津】(中部圏支部学会実行委員長)

- ・皆さん、こんばんは。
- ・24年度の中部圏学会の方を東濃地区で行う事に決定致しまして、それに向かって、東濃地区の方で誰が実行委員長をやるのか事務局を何処がやるのかといった会議を持たせて頂き、私が実行委員長をやらせて頂く事になりました。  
また、実行委員長と事務局は同じところのスタッフが良いのではないかという事で病

院の松川の方に事務局長を依頼した次第です。

- ・副事務局長として、県立多治見病院の松井明男が担当させていただきます。
- ・会計には、産業保険センターの永田さんと柴さんをお願いしてあります。
  - ・また、実行委員には、各東濃地区で主だった病院の管理責任者、発言権のある方になって頂いて、これからいろいろ話を進めていこうと考えています。

<資料に基づいて説明>

- ・日時は、平成24年11月3日、4日
- ・場所は、多治見市にありますセラミックパークMINOで、意外と新しい大きい施設です。ただ、学会を行うには若干不足気味かなというところもありますが、会場自体は、かなりしっかりした物が整っています。
- ・国際会議場で、メイン的な行事をやらせてもらう。席一杯で、立ち席で見てもらうと、良いのではないかと。あまり大きな会場で空席が目立つよりは良いのではないかと考えています。
- ・イベント会場については、余裕を持って100席分ですから、もう少し多く入れます。また、中央で二分割できますので内容によって大きさは調整できます。
- ・小会議室も余裕を持った数で50席分は確実に取れる状況です。
- ・展示ホール（B）、展示ホール（A）この二つは広いので、割り振りを行って、一般演題の発表会場を2箇所くらい予定しています。
- ・全部で6会場という形になるので、かなり来場された場合でも捌けて行けるのではないかと考えています。
- ・展示ホール（A）は体育館並みに広いので、この場所において展示等を一緒に行うとともに、業者等を入れまして地場産物を展示したらどうかと提案したいと思います。
- ・茶室を借りると、1日利用して12,000円から13,000円くらいです。お茶会とまでは行かなくても、抹茶のサービスをしたらどうか、10万円くらい掛ければ出来るので、来場された方にそういう少し変わった経験をしてもらうのも良いのではないかと考え、提案して行きたいと思います。
- ・会場費全部含めると、概算で100万円くらいになります。

<テーマ「医療に根差す心の伝達」について説明>

- ・最近医療技術はすごい勢いで進歩していますが、医療技術を使う私たち、あるいは医師、看護師全てについて共通して言えますが、なんとなく人情性というものが薄れてきた様に思える。そういう事も踏まえて人間性、教育、患者様に対して、あるいは検査に対して、仕事に対しての『心』というものをもう少しこれから教育を進めて行かなくてはいけないのではないかとこのテーマを決めました。
- ・特別講演に関しましては、陶芸家の七代目加藤幸兵衛さんを、理事会で承認されま

したら、スタートしてお願いしに行きたいと考えています。

- ・陶芸家 七代目 加藤幸兵衛さんの略歴について紹介。
- ・教育講演として、医学博士の舟橋啓臣先生ですが前県立多治見病院院長でありまして、現在名誉院長を務めています。病院経営、病院のあり方について、しっかりとした信念を持っている人です。今回のテーマにも合致していると考えています。
- ・それぞれのタイトルについては、(仮) ですのでご本人と話し合った上で決めていきますので、変更となる場合もあります。
- ・学会予算概要案について説明。(資料参照)
- ・広告、展示協賛につきましては、皆さんからも業者さんに声を掛けて頂きたく協力をお願い致します。

#### 【北村】

- ・ありがとうございました。
- ・補助金について若干補足説明をします。
- ・中臨技 450 円という事でしたが、今年の11月以降に中部圏という名称になりますので、450 円が 500 円になる。500 円×会員数という事ですが、詳しいことは分かりません。ただ、中部学会という名前は無くなり、日臨技直轄の中部圏になります。
- ・今年の愛知県の中中部学会以降に分かると思いますので、分かり次第お知らせ致します。

#### 【深津】

- ・中部の会長などがお見えになられて、理事会などを開催する場合は中部臨床衛生検査技師会が宿泊代、食事代などは負担して頂くということで良いか。

#### 【北村】

- ・その通りです。其の事に関しては全然問題は無いと思います。この決算書の金額の中には中部からの金額も入っています。

#### 【石郷】

- ・大垣で実施した時は、理事会の場所と会議後の食事の場所を設定してくれ という依頼、照会はあったが、お金は出していない。

#### 【松川】

- ・今回の予算書を作成するに当たって、基にする物がほとんど無くて唯一合ったものが、石郷さんから頂いた大垣の時の物が予算書だけで決算書が無くて、高山の資料も同様であったので、大垣、高山などの決算書など、何処かの物を見せて頂きたい。

#### 【議長】

- ・最初のページからの事について説明がありましたように、テーマ、特別講演などのお二方の事に関して等、提案頂いていますが皆さんの賛同頂ければ、このまま進めて頂きたいと思いますが、皆さんどうですか。他に何か要望があれば聞きますが。

提案して頂いた方々にやって頂くという事で、宜しいでしょうか。

(賛成多数)

議題1は、了承された。

【深津】

- ・有難うございました。それでは、こういった方向で、早々にご当人のほうにお話しして、ご承諾して頂けるように準備していきたいと考えております。

【北村】

- ・その他の病院、役員の方々にもこれから具体的にやって行って頂かなくてははいけませんので、宜しくお願いします。

【松川】

- ・副学会長については、どうしたら良いのか分かりませんでした。

【石郷】

- ・それは担当地区（県）によって、学会長、副学会長を決めているところもあります。

【北村】

- ・大筋この内容で進めて頂き、詰めていって頂ければ良いと思います。出来るだけ今年詰めて、来年度の予算で岐臨技として何処まで出来るかといった処まで結論が出ていけば、うまく行くと思っています。中部圏の決定は、11月以降ですので、その時に、中部の会長などと話をしていけば良いとも考えています。

【山本初】

- ・中部の学会のことは、まだハッキリしていませんが、今の学会に準じてやる、その規模が小さくなるだけと聞いていますので、会長が言われたように、もう少し先に会計の話が出てくると思います。

【北村】

- ・有難うございました。

【深津】

- ・もう一つお願いがあるのですが、基本的にこの学会の準備委員会が出来たわけですが、予算としてはゼロですので、従って、会議を行っても弁当一つ買うお金も無い訳ですので、旅費、会議費などの予算を認めて頂くという事で宜しいでしょうか。

【北村】

- ・それに関しては、会議などの様式がありますので、それに沿って出してください。

【深津】

- ・分かりました。それをキチンと出させて頂きます。

【兼子】

- ・予算を立てるにあたりまして、事業計画書や予算の見積書などの出して貰っています。それが無いと判断が出来ませんので、そういった計画書を事前に出して頂きたいと思います。

- ・もし、来年も予算を使ってという事であれば、見積りなどを事前に出して頂きたい。

【深津】

- ・学会は岐阜県技師会の学術事業ですので、学術部長がいろんな研究会あるいは拡大研修会などの予定を立てて予算を組まれます。来年度の学会というものは（今年度の予算編成時には）当然その時点でまだ実行委員会は出来ていませんでした。予算を立てるのは技師会の事業として技師会の学術部長がその辺を考慮して予算を立てて頂けるものではないのかなと考えますけれども、いかかでしょうか。

【近藤】

- ・今回の平成24年度中部圏支部学会については、これからいろいろな会合とかも開かれると思いますので、部門別企画の研修会とか発表とかも有ると思いますので、もし会合とかが有るようでしたらその関係のもののお話があったら、私の方へ連絡して頂きたいと思います。そうしましたら、私の方から、個々の班長さんに打診をして必要なものとか、講師とかの調整として中間的な役割をしますので、ある程度そういった話が出来る状態になりましたら、声を掛けて頂きますと私の方からも働きかけを行いますのでお願いしたいと思います。
- ・予算の話になりますが、学術部としての事業という形で今回の議事録、議案書などにもありますが、今回、入っておりません。大変申し訳なく思っております。金額的なものがどういうものになっているのかが把握できておりませんでしたというところが、正直な話であります。
- ・兼子会計から話のありました予算立ての資料がもし必要だという事であれば、私の方から出させて頂いて、予備費の形で支出金があれば今年度は実施して、また来年度こちらの方に出向いて会合があった時に、来年度はどのくらいの金額が必要との情報を頂きまして、来年度の予算取りの資料とさせて頂き会計のほうにお願いするような形で話を進めたいと思いますので、今回は私の不備という事で、来年度につきましてはしっかりと提出して行きたいと思います。

【深津】

- ・学会の補助金等も学術事業という事で、補助金ではなくて予算ですね。学会費として金額を支給して出て頂くという事をお願いして宜しいですか。

【近藤】

- ・理事の皆さんに確認しておいた方が良くと思いますが、新しい名称となった中部圏支部学会は、この岐阜県臨床検査技師会の行事だという認識を改めてして頂いた方が良くと思います。

【深津】

- ・そのように認識して頂かなくては困りますね。合同学会ではないですからね。

【近藤】

- ・そのことを前提として話を進めていかないと、関連する団体から関係ないじゃないと言われると困るので、ここにいる理事全員一致でこの学会については岐阜県臨床検査技師会主催の関連学会だという認識のもと皆で頑張っていく事を納得して頂いて話を進めて頂ければ良いと思います。

**【深津】**

- ・学会予算というものをキチンと取って頂いて遣わして頂けるようにしていただきたい。

**【近藤】**

- ・因みに、予算的な金額としてはどうでしょうか。会議を何回やられる予定とかあれば、日当、交通費とか出席人数とか計算すると大体の予算が出ますので、構想が纏りましたら、まとめて教えて頂ければ、企画案として兼子部長の方に準備をお願いしたいと思います。

**【多和田】**

- ・質問ですが、中部圏という言い方をしますね。日臨技の支部であって岐臨技とは全く別物だと日臨技は言っていますよね。

**【北村】**

- ・ある意味では別物です。ただ、中部圏というのは、あくまでも中部という考え方でいるので、その中で担当が岐阜県であったりするだけですが、まだ判らない部分があるので何とも言えないが、日臨技の学会を小さくしたものとも考えられますが、現在のところまだ良く判りません。日臨技主導だという事は覚えておいて下さい。

**【兼子】**

- ・学術の方と深津先生の事務局の方とで良く話し合っていて予算を出して下さい。

**【多和田】**

- ・今回の予算の中にこれからやっていく会議費は含まれていない訳ですよ。足すという形になるわけですか。予算取りというのが良く判りませんが。

**【牛丸】**

- ・会計処理の仕方がいろいろ有るわけですが、例えば準備費にするとか、今年度の予算案は総会で決められていますので、この中には入っていませんのでどういう形にするかは考えてみなくてはなりません。仮払いの形か、補正予算の形にするのか。議案書は出来てしまっているので、総会当日に何らかの形を取るしかないのでは。

**【永井】**

- ・中部学会の関係のことは、何か科目を付けて貰いたい。学術部としてはまた余分に金が出て行くので、また説明をしなくてはならない。特別会計的なものには出来ないのか。

**【牛丸】**

- ・それは良い。中部学会費などの名目で良い。中部支部学会費など。

**【議長】**

- ・総会に向けて準備をして頂き、間に合うように努力して下さい。宜しくお願いします。中部圏学会のことについてはこれで宜しいでしょうか。宜しい方の挙手をお願いします。(挙手多数) 有難うございました。

**2. 春季拡大研修会について**

**【松山】**

- ・資料に基づき説明がなされた。
- ・印刷は3社の競争入札により南進社に決定しました。
- ・3月 賛助会員向けに広告掲載要綱、申込書の発送（5月末〆切）
- ・4月 春季拡大研修会、第1回定期総会の案内の発送
- ・5月 講師招聘依頼状の発送  
準備委員会の開催予定（5月末から6月初旬に1～2回）
- ・6月 資料集の作成、当日配布（140部作成予定）  
委任状、出席状〆切 6月13日（月）必着  
会場設営 6月18日（土）  
6月19日当日 8時45分 集合

**3. 平成23年度第1回定期総会について**

**【北村】**

- ・委任状、出席状については、来週早々に発送します。
- ・総会役員については、6月6日以降で決めていくとのこと。

**【牛丸】**

- ・議事進行表の「第3号議案 平成23年度 監査報告について」は当たり前のことなので要らないと思われる。

**【議長】**

- ・どうでしょうか。削除しても宜しいでしょうか。(賛成多数) 削除します。

**【牛丸】**

- ・決算書の中で経費の予算がマイナスになっていますが予備費などを多めに取って頂いて、予算がマイナスにならないようにしなくてはならない。来年度に向けて気を付けてください。

**【北村】**

- ・各部長さん、予算立てを宜しくお願いします。

**【議長】**

- ・他に意見などありませんか。なければ定期総会関係、議案書については宜しいでし

ようか。

【山本（初）】

- ・表紙の場所が「岐阜市ふれあい会館」になっているが、『岐阜県ふれあい会館』ではないのでしょうか。

【北村】

- ・今から刷り直しも出来ませんので、総会の席上で言います。

#### 4. 60周年記念パーティーについて

【北村】

- ・このことについては、山本初津恵先生にご足労を願って、会場の方を取って貰いました。
- ・細かい打ち合わせや内容は、副会長が中心となってもらわなくてはならないが、何か問題があれば対応していきたいと思います。

【山本（初）】

- ・早めに60周年の委員会か何かを立ち上げてそこでやった方がいいのではないのでしょうか。二人だけでやっていくのはちょっと。5人くらいは必要なのでは。
- ・行政に関わることは早く出さないといけないので、1年半前からでも出していった方が良いでしょう。

#### 5. 東北地方太平洋沖地震災害義援金募集について

【北村】

- ・日臨技の要請を受けて、皆さんから募金を募ろうかとも考えましたが、大変だという事で、一人当たり500円で常務理事会では決定しましたが、最終的にはこの理事会で決めて、今年度の予算で実行しようと思いますので、皆さんにお諮りしたいと思います。

【兼子】

- ・科目はどんな感じにすれば良いですか。

【北村】

- ・今後のことも考えて隣人に対しての予算枠みたいなものを作ったらどうかと思っている。

【山本（初）】

- ・予備費では駄目でしょうか。

【牛丸】

- ・予備費をもう少し増やしておいて対応するのが良い。

【兼子】

- ・予備費がかなりマイナスになりますがいいですか。

【北村】

- ・それでは一人 500 円で良いですか。もっと沢山の方がいいですか。

【山本（初）】

- ・全国的には、だいたい 30 万円くらいの所が多いみたいですね。100 万円という所も有りますけど。

【兼子】

- ・500 円×会員数ですが、会員数はいつのもので良いですか。

【北村】

- ・3 月 31 日付けでもいいですよ。

【議長】

- ・それでは、宜しかったら、挙手願います。（挙手多数）はい、有難うございます。今日決まりましたので、準備を会計の方、宜しくお願い致します。

#### 6. 臨床衛生検査業務功労者の厚生大臣表彰実施について

【北村】

- ・どなたかを推薦したいと思いますが、どなたかいませんか。
- ・250 万人に一人の割合です。（岐阜県は 220 万人位）

【山本（初）】

- ・北村会長はどうですか。

【北村】

- ・皆さんが理事会で承認して頂ければいいですよ。

【議長】

- ・皆さんそれで宜しいでしょうか。宜しい方は挙手をお願いします。（挙手多数）有難うございます。

#### 7. (案) 平成 22 年度 第 6 回 常務理事会 会議録について

#### 8. (案) 平成 22 年度 第 6 回 理事会 議事録について

#### 9. (案) 平成 22 年度 第 2 回定期総会 議事録について

【議長】

- ・事前に廻してありますので、皆さん見て頂いていると思いますので、三つの会議録、議事録について承認して頂ける方の挙手をお願いします。

（挙手多数）

はい、有難う御座いました。

#### 10. 平成 23 年度 会議開催日程および出欠確認方法について（庶務部）

- ・会議等につきましては、今日が今年度中の開催日の最終決定日ということで、変更などはないという事で一年間、理事会、常務理事会をこの日程で行っていきます。
- ・役員の方がほとんど出席できないような事態になりましたら、メール、電話などで調整を致します。

●事務所の鍵の扱いについて

- ・事務所の鍵は現在5個+予備1個があるが、各部長さんには鍵を持って貰いたいがどうでしょうか。(5個+予備1個 +5個)

<意見>

- ・鍵は特殊なタイプなのでしょうか。→特殊ですから金額的にも高い。
- ・受け渡しは出来ないのでしょうか。→事前に事務所などに取りに来る必要がある。
- ・メールでのやり取りが良いのでは。→回答がいつ来るのか開いたか分からない。
- ・各部長が責任を持って修正をすればよいのでは。→それは、その通りです。
- ・運用と管理の問題があるのでは。→難しくなる可能性は否定できません。
- ・会計に関しては領収書の持ち出しや確認など難しいかもしれないけど、事業報告などについては自宅でも出来そうなのですが。
- ・事務所の使用については、本来は事前に申請して必要なら鍵を受け取るになっているが、急な場合はどうするのか。
- ・誰が持っているのが分かれば、その人の所に借りに行けば良いのでは  
そうすれば、そんなにお金を掛けてまで鍵を作る必要が無いのでは。
- ・今回はそれで良かったのですが、この先も続けられるのかどうか。
- ・鍵が多くなると、リスクも高くなる。失くしたら、その鍵を全部変える必要が出てくる。

【議長】

- ・鍵の件についてはもう少し検討するか、決をとるか。各部長さんは如何でしょうか。要るでしょうか。
- ・賛成の方  
(挙手少数)
- ・もう少し検討したほうが良いという方  
(挙手多数)  
それでは、もう少し検討して下さい。

※その他資料について

●会費の送金について

- ・北村会長から資料に基づき説明がなされた。

●平成22年度臨床検査データ標準化事業 助成金の送金について

【山本(初)】

- ・3月25日に送金されてきた助成金をどのように扱うのか。牛丸先生、兼子会計部長といろいろ相談をした結果をお知らせします。

【牛丸】

- ・この収入(助成金)は岐臨技に対しての助成金なのか、三病院に対しての助成金な

のか。

- ・今まで、三病院に対してはお金を払っていないので、岐臨技の収入になっています。
- ・今回の内容的には基幹病院の機材を使ったりしたそれに対する助成金だという意味合いだと、そちらへ出さなければいけないのではないかと、そちらから寄付を貰った形にしたらどうですかと提案した。ただ、寄付にするとそれなりの会計処理、会計手続きが必要になる。三病院からも寄付の申し込みみたいな書類が必要だし、向こうはどう考えているのか、今のところ何も書類としては無い。とりあえず、今回は標準化事業部の収入という事で決定して下さい。
- ・今後どちらが正しいのか分からない。非常に難しい問題です。

**【山本（初）】**

- ・逆にお金を渡したり、やり取りをすることは基幹病院が困ってしまうのではないのでしょうか。

**【北村】**

- ・そうなると、キチンと基幹病院と契約という形にしてやらないと揉めると思うし、今まで使った金額はいくらだったのかという事もあるから難しい。

**【田中】**

- ・全国の標準化精度管理の全国会議というものが先日ありまして、今後もこれは続きます。毎年こういった形で金額の増加はあっても此の位の金額で今後も各都道府県に配布する予算取りはしてありますという話で、受ける側としては、キチンとした形を決めておかないと毎年この件は持ち上がりますので、決めておかななくてはならないという事は認識しておいて頂きたい。
- ・病院の実際の実態は、その病院の検査部長なり、その部屋を纏めている組織としての責任者の認識と許可があればやれるという状況でやっています。  
さらに責任者の方は、院長、副院長と話をする会議の場に出して頂いているようで、そこで承認を受ければ、公共の益に資する、医学の益に資することで、良かろうというお声の基に試薬を使い、人の汗も使いデータ化がされているというのが現状です。  
それをそのまま放っておいてはいけないという事で高田会長の方から、こういった起案があって結局こういった形で降りて来ました。
- ・これから岐臨技として、基幹施設に対してこういった事をやった場合、逆に蒸し返してしまい今まではどうだったのか。また、試薬などで金額が足りないといった場合はどうするのか。一人が時間外労働などをした場合にいくらですといった事を各施設にした場合にそれを換算（合算）していった場合に話が法外になって行ってしまう。

☆精度保障事業部への日臨技からの収入として一括りにしてしまってもいいのか。

逆に聞きたいのですが、日臨技から1番から4番までの候補を挙げて、向こうもそ

れなりの手続きを踏んで出でて来ていると思うので、各都道府県側として受けるのに、こういう決定機関で決めましたのかという事で受けてしまっているのかどうか。あるいは、こういった問題点が考えられる といった意見をお聞きしたい。

【牛丸】

- ・この助成金が基幹病院で働いている岐臨技の技師の方に対する助成金なのかどうか。

【山本（初）】

- ・たぶんこの金額では足りないと思うのですが。30,000 円では絶対試薬代は足りませんね。それは分かっているのだけど、かなり沢山の施設がありますから、このくらいしか出せないといった事だと思う。
- ・ある県では、技師会の皆さんがこの標準化の事業をやってくれたという事で、非常に大変なことだったという事で、30,000 円全額かどうかは分かりませんが図書券を渡した例もあります。（技師に必要な本などを購入できるといった趣旨）

【田中】

- ・それをやるに当たって、事前に各組織の担当を通じて、技師長クラスの権限の方にそういった依頼が行った場合、受け入れられるものなのかどうかを事前に聞いてからの事らしいです。
- ・要するに、例えば、新版の検査提要进行の使うとか、そういった名目を書くという事を聞いておりましたので、そういった事前調査をして、当岐阜県も図書券という形である程度の金額をお出しして、あとの分に関しては標準化の部会の方に入れるのか、そういう事はどうか、可能なのか。

【牛丸】

- ・それは岐臨技の方で決めてもらえば良いですが、対病院との関係は今まで通りに行くのかという気がします。各地区はどうか、病院にこういった費用を払っている訳ではないので。

【北村】

- ・各施設の責任者の方と納得が出来ていけばそれで受けてもらえると考えていますが、そんなもので済まんぞって不満を持ってみえたと話が全然違うし、各施設まで行ってしまうと、話がおかしくなってしまう、僕が謝らなくてはならなくなると思うのですが。

【山本（初）】

- ・この間の精度管理の時に、基幹病院の方にはそういったお話をされて納得して頂いているのですよね。

【田中】

- ・はい、そうです。

【山本（初）】

- ・そうだとしたら、それは問題がないと思います。

- ・岐阜県の技師会として気持ち的に此の位やってあげた方が良いと思うし、今後の精度管理の標準化に使っていけば良いのではないかと考え方はいろいろ有ると思いますが。

【北村】

- ・どうですか皆さん、その辺の考え方。ある程度 結論なり そういった方向に持って行けるような話し合いが出来れば良いと思うのですが、やって頂いている所は大変苦勞されているとは思いますが。私も判りますので、そういう気持ちで出するか。

【田中】

- ・標準化事業というものは、3年で終了する予定でしたが日臨技の上層部でも「上手くいかなかった。」という謝罪の言葉もありましたが、5年になった。
- ・公益事業としての精度管理には、日臨技としてより力を入れて行きたいので、この標準化事業は今後も続けて行きたい。  
そういった決定がでたものですから、もう放ってはおけないので、この金額的な話になったという説明もありました。
- ・今後も続きますので、次年度以降もあるので、次をお願いする時にはこういった図書券なども考えている事を言って理解を得ていきたいのですが、どう致しましょうか。

【議長】

- ・皆さん、どうでしょうか。意見があればどうぞ。

【多和田】

- ・日臨技としては、標準化の協力施設に払っている金額（30,000 円）なので、基幹病院に対して一律の金額で来ている訳ですから、基幹病院が良いと言わないと後で採める元になりませんか。この辺は、ちゃんと形にしておいた方が良いのではないかと。

【田中】

- ・先ほど少しお話したように、図書券云々の事も、担当を通じて打診して頂いて、オーケーが取ればという前提条件ですので、どのレベルの人に打診すれば良いのか、検査部長クラスなのか、技師長クラスなのか、その辺の判断もして頂いて出向くなりしてお聞きするという事です。

【多和田】

- ・公式文書で出せば良いのではないかと。あとどういう風に処理されますか？という事で書いて頂ければ良いのではないかと。

【牛丸】

- ・公益事業という形でやらせて頂きます、了解貰いなしの形でやる。  
そうしないと、費用を基幹病院の収入に上げて寄附金で出す事はちょっと出来ないと思う。  
☆お願いしてやらせて貰っています、御礼として図書券を渡す。これしか考えられな

いと思う。

【田中】

- ・それでは、その辺を文書文面のところに盛りまして、また見て頂きまして、その後に出すということで。

【牛丸】

- ・予算としては、来年度からですね。

【北村】

- ・今年度入ってきますのでやるのです。(平成 23 年 3 月 25 日付け送金)

【牛丸】

- ・それは、今年度の予算に入っているね。

【兼子】

- ・入っていません。このような形式での入金がある事を知りませんでした。

【田中】

- ・それでは、そういった文面を部会の方で検討して、検査施設宛に出して、それで相手の反応もありますので、それに対する対応をしていく。(三病院に対して)

結論として

- ★御礼として図書券をお出しする。
- ★あとの金額に関しては、岐臨技の収入とする。

【議長】

- ・それで宜しいでしょうか。宜しい方の挙手をお願いします。(挙手多数)  
有難うございます。それでは、田中部長さんそのように進めてください。お願いします。

【田中】

- 報告事項からします。
- ・全国のデータを収集して全国に共通する基準値を日臨技の方ではやってきましたので、その報告が上がってきました。
- ・日臨技の会議では、日臨技データ標準化事業「本邦において広く共有できる基準範囲の設定」というのがでているので、各施設に帰られましたら、見てください。日臨技の係りとしては、報告書としてお出ししているつもりだ ということで、各都道府県に帰ったら、お話しとの事でした。
- ・「精度保障施設認証書」というのが今回申請した施設には届いていると思いますが、これも報告をさせていただきます。
- ・認証書の写真を取りまして、ホームページ掲載用にデータ化しますので会長の方で宜しくお願い致します。

- ・MTJの記事と、朝日新聞に掲載されました「4月は臨床検査月間」の記事の海洋の違いについて小沼副会長に回答を求めてきました。

回答として

- ・MTJはある程度限られた範囲の人が見る。それに対して朝日新聞というメディアは、非常に沢山の人が見るので、他団体からの問い合わせや、他団体とのバッティングも予想され、同じ文面には出来なかった。同じ掲載には出来なかった。申し訳なかった。

また、朝日新には組織が載っているが基幹施設と載ってしまったため、問い合わせがあった。誤報に近い言葉であり、認証を受けた施設というのが正しい。此方の方も申し訳なかった。

との内容でありました。

- ・高田会長が日臨技として精度保障については、力を入れている。認証制度にも今後力を入れてやっていきたいとの事。
- ・「日臨技データ標準化精度保障セミナー」というのをやり、案内の文書、申請書類も全て向こうが揃えてきています。
- ・このように、日臨技は力を入れています。
- ・「臨床検査データ標準化事業に関する2011年度計画」(資料に基づき説明された)
- ・「検査室の階層構造と標準物質・管理資料等の使用方法」について  
日本医師会の精度管理の正解はどこにあるのか。  
日臨技としては、医師会の方法に追随していこうとしている動きの一環です。  
-70℃の冷凍庫は、基幹施設の中では大垣市民病院さんが持っているので、大垣市民病院さんを推薦しようかと考えている。
- ・ご協力をお願い致します。
- ・会議の前に定期総会があり、議案書の中に「臨床検査精度管理強化の推進」の5番目が重要。(日臨技定期総会議案書参照)
- ・日臨技会員、岐臨技会員の不在施設でも参加が出来るように積極的に働きかけを行うので、当方の精度保障事業部としても両会員不在施設でも参加を呼びかけて積極的に前に出て行きましょうという事で会議の方は纏まっている。
- ・「新規参加案内配布施設」に基づき案内文書を配布する。  
(県の医師会が主催している夏と冬の精度管理に参加している施設+当方の精度管理に参加している施設を除いたもの)
- ・各施設長、各施設に対する「案内文書」の説明 5月23日発送分に入れる。
- ・「精度管理調査」の日程説明。(資料参照)
- ・「参加申し込みについての注意事項」について説明。
- ・他県とのデータ連携の件については話が進んでいます。プール血清の使用というのは必須なので岐阜市民病院の伊藤委員と平光実行委員長を中心にまた本年度もや

って行って頂くわけですが、どうしてもアブノーマルを作っていくのが大変であるという事が一つ、それでサンプル購入となる。免疫関係のサンプルの購入。そういったサンプル購入を積極的に進めていった方がより良いデータ取りが出来るという事が一つあります。そういう理由でサンプルが高いので値上げの方を検討したいと思います。

★ 参加費 22,000 円、7,000 円（各々2,000 円の値上げ）については、審議をお願いします。

★ もし、金額的に駄目なら元の金額に戻します。

・賛助会員にも積極的に参加を促すように呼びかけていく。

・「標準化及び精度管理調査のご案内」について説明。（資料参照）

・三重県の精度保障事業部長の佐藤さんから去年から話があって、今回も話があり具体的になりつつありますが、プール血清の交換です。アブノーマルの方がうちでも使っているので如何か、という事です。N数が 100 位。こちらはノーマルのプール血清で良いので、同じノーマル同士の交換。まったく同じ数値ではないので。

100 から 200 検体分をお互いに交換する。

・プール尿の方も作成してこちらにも交換をするという計画を持って動いていく。三重県以外でもう一県とプール尿の交換を計画しているので、審議して頂いて良からうという話になったら、会長から三重県の会長に話をして、実務レベルでは私と佐藤さんと、あるいは平光さん、多和田さんと協議しながら前に進めていくという考え方で如何かな、という事です。

・「岐阜県精度管理委員会名簿」のメンバーについても何とかこちらの方も協議して、会長とともにアクションを起こして行きたいと考えています。というご報告を致します。

●理事の方に審議をして頂きたいのですが、

1. 手元にある書面の文面で案内を配布して良いかどうか。

2. 岐阜県の会員不在施設への参加を促して良いかどうか。

3. 参加費の値上げをしても良いかどうか。

についてお願いします。

【議長】

・それでは、質問などありますか。

【多和田】

・参加費の値上げの件は、部長が言い忘れたようですが、報告会の参加費を取らないという事になったので、その分が上積みされているので、材料費ではなくて今まで報告会の参加費 1,500 円を取っていたが今後は取らない、その辺まで含むという事が 2,000 円の値上げとした理由です。

【北村】

- ・会員の方から、報告会の参加費くらいは含まれるのではないのか、といった意見が昨年も出たのですが、だったらそれも含めた値上げにしたらどうかという事で私の方へも話は頂いております。そういう理解をして頂いた上で皆さんの意見を頂きたいのですがどうでしょうか。

(質問、発言なし)

**【議長】**

- ・今の値上げの話はそのような理由で値上げするという事で宜しい方は挙手をお願いします。(挙手多数) 有難う御座います。
- ・会員不在施設への参加働きかけについてはこのような働きかけで宜しいでしょうか。(挙手多数) 有難う御座いました。
- ・案内文書については、値上げの金額を記載した文面で、各施設宛に配布するという事で宜しいでしょうか。(挙手多数) 有難う御座います。

**【田中】**

- ・それでは、23日に発送致しますので宜しくお願いします。

**【多和田】**

- ・質問なのですが、総会に諮られた時に、朝日新聞の件は基幹施設ということでトーンダウンしたという話があったのですが、次年度はどうされるのかというような話がありますか。

**【田中】**

- ・小沼副会長は「次年度は違いますよ。もう少し積極的な文面で出そうと思っております。」とっておりました。

**【北村】**

- ・私が聞いている中では、施設認証については50,000円を払った施設が朝日新聞を事務方に見せようとしたらどうも文面が違うのがっかりした、との意見もあったので、言おうかなと思っています。やはり、会員の方が期待しているところなので。

●平成23年度各地区学会開催に関してのご連絡について

- ・資料に基づき説明がなされた。

●がん予防啓発に関する事業・青少年へのSTI予防啓発教育事業について

- ・資料に基づき説明がなされた。

●第50回中部医学検査学会について

- ・資料に基づき説明がなされた。

●公益受託 臨床検査医学研究振興基金について

- ・資料に基づき説明がなされた。

●平成22年度 各種受賞者決定について(報告)

- ・資料に基づき説明がなされた。

- 平成23年度永年職務精励者表彰受賞者について（報告）
  - ・資料に基づき説明がなされた。
- 医療従事者を対象とした「C型肝炎ウイルス研修会」について
  - ・資料に基づき説明がなされた。
- 第21回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 演題募集など
  - ・資料に基づき説明がなされた。
- 平成23年度 日臨技全国研修会について
  - ・資料に基づき説明がなされた。
- 決算書への財務諸表の注記の添付について
  - ・資料に基づき説明がなされた。
- 社団法人 日臨技 平成23年度第1回定期総会追加審議について
  - ・資料に基づき説明がなされた。
- 日本の医療を守るための岐阜研修会について
  - ・資料に基づき説明がなされた。
- 「日臨技生涯教育制度 平成22年度事務処理について
  - ・資料に基づき説明がなされた。
- 平成23年度 第32回市民健康まつり（岐阜地区）について

【平沢】

- ・資料に基づき説明がなされた。

【石郷】

- ・健康まつりについては公益事業費に計上される予定ですが、今後も継続していくのでしょうか。
- ・今は、別に計上されていますが、継続されるのであれば、公益事業に加えることが可能となるので。

【牛丸】

- ・提案があります。公益財産の減少は計算だけですからボランティアも、きちんと計算に入れなくてはならないので、何人、何時間ボランティアをやったか、会議もそうですし、途中で掛かった費用を計算できるようなシステムにしないといけない。
- 4月からは、そのように報告して貰うように兼子さんには頼んであります。  
事業としては計上できますので。

【山本（初）】

- ・精度管理は公益事業にはならないのですか。蒸し返すようで申し訳ありませんが。

【鈴木】

- ・相談してみて（申請してみて）通るか通らないかです。日臨技は内閣府ですからその判断になると思います。

【山本（初）】

- ・精度管理は丸1日の作業をすることもあるので、日当1,000円ですから、ボランティア部分を計上しても良いのでは。

【牛丸】

- ・それは、計上は出来ると思いますよ。ただ、（県の担当者の）見解によって違って来るかもしれないけど。

### ◎表彰規定について

【石郷】

- ・本来は各地域の地区理事の責任において決めなくてはならない。
- ・地区理事には、理事会で毎回毎回表彰規定に当てはまる人を出してくださいってお願いしていたけれど、白井部長さんの方に集まってきたのは、該当しない人のリストまで雑多に送られてきていた。  
で、結局「決められないから」と相談があり、50周年記念誌などを見たりして、3人に絞られてきた。
- ★本来は、地区理事から上げなくてはいけない。それが全然されていない。各地区の事に関しては判らないので。
- ★地区理事から該当者を上げてきて、この理事会で審議して表彰規定に合うかどうかを決定して定期総会で表彰するという形になっている、本来は。

【多和田】

- ・地区理事は全部のことは判らないけど。会員に対して行うのですよね。年齢に関しては定年後になりますよね。自分の病院は把握出来るが他の病院のことまでは判らない。

【白井】

- ・元々データベースが無かったのが問題であった。元々無いのに、新しく来た僕にやりなさいよってというのは、無理な話であります。それで、理事の皆さんにアナウンスしている訳です。

【山本（初）】

- ・データベースはどなたか作っているのですか。

【白井】

- ・私の方で50周年については作って持っています。それ以前については判りません。

【議長】

- ・表彰については、今回、3人という事で決定させて頂きたいです。宜しいでしょうか。挙手願います。  
(挙手多数)

有難う御座います。

- ・あとは、次年度に向けて宜しくお願い致します。
- ・表彰の準備や案内もお願いします。

【石郷】

- ・表彰関係については、種村さんに言って一昨年にみんな買ってあるはずなので、種村さんが表彰の台紙やなんか全部準備してくれています。案内状も往復葉書の形式によりメールで送ってあります。

庶務より

◎監事からの提案について

【山本初津恵監事】

- ・事務員の管理についてですが、監査を行った際にいろいろと問題があって、勤務の日時が自己申請なのです。それはまずいのではないかとこの事でタイムカードだけはせめて付けてもらう事にしたいのですが、タイムカードを買って頂けないでしょうか という提案なのです。

【北村】

- ・勤務時間の管理が出来ていれば良いとの話で、今のところはタイムカードか という事です。ただ、事務員にしてみれば、会長の方に連絡しているので事務員としては報告しているつもりなのですよ。

【山本（初）】

- ・いえ、そうではなくて勤務時間をキチンと何らかの別の形、別の処で自己申請ではなく証明する。何時に来て、何時に帰った と客観的に証明した方が良いのでは。

【意見】

- ・タイムカードはいくら位するのでしょうか。

【北村】

- ・2～3万円位だと思います。

【兼子】

- ・どのような種類があるのかが知りたい。

【山本（初）】

- ・調べて送ります。

【議長】

- ・皆さんどうですか。ご意見ありませんか。

【石郷】

- ・電話を掛けても「食事に行っていたのです。」との答え。本来は、事務所で食事をするようになっているはずなのですがね。10分15分は良いとしても。

【山本（初）】

- ・皆さんからもいろいろあると、本人を守るためにもキチンとした方が良くと思います。

【牛丸】

- ・会計上も必要だから確かに居なかったら大変だよ。

【北村】

- ・どうしますか。買いますか。
- ・それでは買って下さい。

【議長】

- ・宜しいですか。それでは終わりたいと思います。長時間に渡りどうも有難うございました。

議 長 \_\_\_\_\_ 印

議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印

議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印